

## 【会議録】

主 題 平成30年度第1回つくばみらい市障がい者支援協議会

- 日 時：平成30年7月27日（金）午後2時～
- 場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎 2階 会議室3
- 出席委員：宮島孝明会長，飯村晴代副会長，岡野純子委員，大久保安雄委員，君嶋俊樹委員，間宮正孝委員，竹内真理委員，片山とよ子委員，荒井栄司委員，鈴木恭子委員，安河内崇代委員，木村範明委員 以上12名
- 欠席委員：雨谷康弘委員，田中りえ委員，本多めぐみ委員 以上3名
- 事務局：社会福祉課 関課長，成嶋補佐（進行），塚田係長
- 傍聴人：なし

### 1. 開会（午後2時00分）

#### ○委員出席状況報告

委員15名中，出席12名，欠席3名

委員の過半数以上が出席により，会議が成立する。

### 2. 会長あいさつ

### 3. 委員自己紹介

### 4. 議事（会長が議長となる）

#### (1) 第3期障がい者計画，第4期障がい者福祉計画の事業実績（平成29年度分）について

第3期障がい者計画，第4期障がい者福祉計画について，平成29年度実績・今年度の予定を抜粋して説明。

○障がい者支援センター構想については，以前から空き教室等を使用できないか検討していたが，学校の適正配置も見直し・再検討となっている状況。29年度に教育委員会から学校跡地利用調査があり，障がい者支援センター構想を企画書として提出した。30年度に給食センターが移転したため，伊奈給食センターが現在空いている。その利用も含めて教育委員会と協議をしていきたい。

○児童発達支援センターが市内にないので，関係各課で協議を行う内部検討会を立ち上げることも検討したい。

○基幹相談支援センターも必要。まずは核となる相談支援事業所を社協に業務委託できないか，社協と協議を進めている。

○児童発達支援センターや基幹相談支援センター等徐々に機能を増やしていき，最終的には障がい者総合支援センター的な所ができればいい。場所の問題，専門職の人

材確保等、課題はあるが立ち上げに向け話し合いをしていきたいと考えている。  
(社協から、相談支援事業について)

県内44市町村のうち26、27か所の半分以上社協として相談支援事業所がある。  
市内唯一の相談支援事業所は主に精神障がい対象であるため、全ての障がいの方に対応できる事業所ができれば良いと思っている。

(質疑・意見等)

議長：今後災害が起きた場合、担当は安心安全課になると思うが市の考えが聞きたい。  
例えば谷井田小は中通川の近く、つくばみらい市役所も小貝川が決壊した場合の避難場所等どのように対応するのか。

委員1：伊奈特別支援学校と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を昨年締結した。今度の10月に防災について協議をするので、そこで話が進んでいくのではないかと考えている。担当課の話が出たのでそれについて少し話をするが、みらい号・みらいくんの担当がみらいまちづくり課だが、福祉課で申請はできないのか。各々の課の仕事というのもわかるが、時間がない時や身体が不自由なのに内容によって課を移動させられるのが大変だ。なるべく一つの課でできないか。

事務局：障がいをお持ちの方が窓口に来た際は、まずは社会福祉課で対応しているが、他課での申請が必要な場合、移動が困難な方等に対しては、逆に担当課職員に社会福祉課に来てもらう等対応している。今後の課題と考えている。

委員2：「高齢者、身体障害者の方に有料の家事援助と産前産後（1か月未満）の方の家事援助」とあるがこの産前産後の家事援助とは障がいの方のみか。核家族が増えてきているので、乳児の入浴等子育て支援があると良いと思う。

事務局：詳細については、担当に確認し後日回答する。

委員3：家事援助の話が出たので、市ですきまサービスとして家事援助をしてもらうサービスを検討してほしい。例えば電球交換等電話がかかってくるが、現在は訪問看護で行っている。市外でこういうサービスを行っている所があると聞いている。利用したいときに利用できるように時間等の予約なしで、なおかつリーズナブルな料金でそういうサービスがあると便利と思うので検討していただきたい。

事務局：情報収集し、検討したい。

委員4：行動援護の使用が少ないという事だが、移動支援について、高齢介護の方で利用が多く、夕方使えないことがあった。（時間帯によって）タクシーだと金額が高くなる・事業所が少ない・市外に行きたいけど使えないということから使用が少なくなっているのもあるかと思う。市の移動支援を検討してほしい。

事務局：社協と協力しながら考えていく。

## (2) ヘルプカードの導入について

県内の導入状況、仕様（想定）、配布対象、配布方法、内容（案）説明。支援が必要

ない方に利用される懸念と、どういう人がカードを必要としているのか統計・把握しやすいように、市では申請書のようなものがあると良いと考えている。配布対象や配布方法について協議を求める。

議長：氏名、住所、生年月日、かかりつけ医等は絶対必要だと思うが、電話番号や障がい・病気の情報については個人情報もあるので必要ないような気もするが。

事務局：内容については、ご本人が必要だと思うところに記入していただいて、その他は自由記入欄に記入して使用していただければと考えている。

議長：配布対象・配布方法についてだが、やはり必要のない方も持って行ってしまう可能性があるのでは窓口で申請書に記入していただいた方が良いと思う。

事務局：市では障がいの方をメインで考えていて、高齢者や妊婦の方は支援が必要な方を考えている。申請書に記入していただければこちらもどんな方に配布したか把握できると思う。

委員1：だが、周知することが重要で、そういう支援自体ある事を知らない人が多い。持っている人もごくわずか。申請書だと福祉課に行かないともらえないとなると、外出困難の方は代理で申請できるとよい。

事務局：TX沿線ではヘルプマークを優先席として認識してきている。市では今月号の広報でもヘルプカードについて取り上げていて、徐々にあちこちで宣伝して知ってもらっているところ。市ではカードを外出支援と考えている。

委員2：手帳の更新等で福祉課に来ている時にヘルプカードの案内をすとか。

委員3：周知するには行政だけではなく、相談事業所・施設等各々でもヘルプカードを利用者に案内したほうがより良いと思う。

議長：利便性を考えると多数窓口が必要。社会福祉課・社協・コミュニティセンター等。

事務局：申請書等の集計・保管等もあるので、方法を検討する。

議長：この場では結論が出ないので、また次回協議しましょう。

事務局：その他、あったら良いと思う点等あるか。

委員1：つくば市ではヘルプカードに視覚障がいの方にもわかるよう工夫がされているようだ。（どのようなものかは不明）視覚障害の方にも配慮したものができるか。

事務局：つくば市がどんなカードなのか確認し、検討したい。

### (3) 部会の設置について

包括ケア部会、子ども子育て部会それぞれ案通りで決定。

### (4) その他

#### ●災害時の福祉避難所について

委員1：災害時、建物全体を一般と分けて福祉避難所にできる所があれば良いなと思う。建物全体・教室・階を分けるなど。

委員 2：避難場所関係は安心安全課。協議会に参加していただいて話をしたい。テーマに合わせて担当課とも直接話をしていけたらよい。10月30日支援学校で防災会議があり、今年は福祉避難所について話し合う予定。協議会としての要望を伝えるにあたり、防災について安心安全課に話を聞きたいのだが。

事務局：部会にて何をテーマにするか決めていただければ担当課に参加依頼は可能。

## 5. 閉会

### 【配布資料】

- ① 会議次第
- ② 第3期つくばみらい市障がい者計画の実績報告（平成29年度分）
- ③ 第4期障がい福祉計画（平成29年度分）の事業実績
- ④ 第3期つくばみらい市障がい者計画（冊子）
- ⑤ ヘルプカードについて（見本付き）
- ⑥ 委員名簿
- ⑦ 専門部会編成表（案）